

平成30年文月号

# 大洞院便り

平成30年7月1日 発行

## 新盆・施食(施餓鬼)法要

新盆法要是、過去1年間に故人となられた方の家族・親族に参集いただき、特に丁寧に手厚く、供養させていただきます。故人になった靈が初めて家に帰ってくる盆で、新盆または初盆といいます。対象者には別途ご案内を同封します。

また、新盆の位牌のある自宅には別途住職が必ず読経の為にお伺いしております。よろしくお願ひします。

施食(施餓鬼)法要是、毎年8月第1土曜日に近隣(曹洞宗千葉県第2教区)寺院の協力をいただき執り行います。

施食法要是、先祖・故人・縁者・広く無縁の諸精靈の供養と、参列の皆様の福德延寿を願う法要です。次世代を担う家族とともに参加をお願いします。

**8月4日(土)** 新盆法要 午前11時~  
施食法要 午後1時~

場所:大洞院 本堂 受付:寺務所

8月4日(土)の施食法要の法話は、櫻井住職が永平寺で修行中に伝導部講師として指導頂いた足利市明林寺・西田



正法住職にお願いしました。西田老師は、平成21年からは永平寺布教部長という要職に就き、現在は関東管区教化センター布教師会副会長、曹洞宗総合研究センター教化研修部講師、更に特派布教師として広く活躍されています。

西田 正法 老師

7月盆の皆様には、別途、棚経予定をお知らせしました。8月盆は、釜蓋朔日に始まり、7日の盆棚準備、13日の迎え火、16日の送り火と続き、24日の地蔵盆で终わります。

先祖や故人の精靈を自宅に迎えて供養する盆棚経は、先祖供養の大切な行事です。櫻井大文住職、兄で福昌寺住職の櫻井文秀住職、満目尚樹和尚の3名が手分けして皆様の家の仏壇や精靈棚などの前で、読経させていただ

## 盂蘭盆法要 8月15日(水)

8月15日午後6時から、大洞院本堂で盂蘭盆法要を執り行います。併せて、終戦の日にちなんで戦没者の慰靈も毎年行っています。

夕方から墓参りに多くの人が集まりますので、午後6時30分から、参道などに千本灯明を点灯して先祖・故人の供養をさせていただきます。

自宅での盆棚経を受けられなかった方はもちろん、墓参を含めて多くの方の家族揃っての参加をお願いします。皆様のおいでをお待ちしています。(準備の協力もお願いします。)

## 盂蘭盆法要 8月15日(水) 午後6時

盂蘭盆法要終了に続いて境内にて五錦雄互さんによる津軽三味線の奉納があります。お聞きください。



津軽三味線奉納

8月15日(水)

午後6時30分頃

出演:五錦雄互 参加費:無料

津軽三味線 五錦流

師範 五錦

ごしき ゆうご

雄互

平成18年 津軽三味線第一人者

「五錦竜二」に師事

平成26年 五錦流師範「五錦雄互」となる。

## 盆棚経のご案内

きます。

その年の新盆の方が加わる為、棚経の対象者は毎年必ず増えます。そして増えた軒数を回る為に毎年日程が変わります。大洞院便りに同封した棚経のご案内で、各家の日程を必ずご確認ください。

日程変更希望の方は、大洞院寺務所までメールまたは電話等でお問い合わせください。

# 住職のつぶやき

「人身得ること難し、仏法値うこと希れなり、今我等宿善の助くるに依りて、已に受け難き人身を受けたるのみに非ず、遇い難き仏法に値い奉れり、生死の中の善生、最勝の生なるべし、最勝の善身を徒らにして露命を無常の風に任すること勿れ。」(修証義第1章総序第二節)

解釈すると、「この世に存在する自分(命)に感謝しましょう。私達は気付かない間に多くの恵み(仏様の教え)に助けられているのです。生き死にはいろいろありますが、今与えられている命が最善です。一瞬一瞬が素晴らしい人生である事を悟りましょう。命とは露のように儚いもので、無常という風にいたずらに委ねる事をしてはいけません」ということになります。

先日、葬儀費用をテーマにした知恵袋サロンを開催しました。意見を交わす中で、葬祭会社の互助会等に生前から50万円ほど積み立てていたが、契約者が75歳を超えて自動解約されて実際には意味がなかったお話や、親の葬儀の際に、葬儀社に心配になる事や(安いプランに変更するのであれば、担当者をワンランク下の者に替えます等)、積立分50万円を上乗せされ過度に豪華なプランを使わされたお話を伺いました。

お話をしてくれた方は、葬儀後に母親の分の互助会積立金50万を解約し、手数料1割を差し引いた45万を返金してもらったそうです。母親の葬儀はお寺に紹介してもらった別の葬儀社に依頼をし、60万円ほどで十分な立派な葬儀が出来たと語ってくださいました。

葬儀はその方にとて、一生に一回限り、やり直しきかないものです。ご葬儀が近いような状況においては具体的に相談をする事が難しい場合もあります。元気な時に準備・相談しておくと万が一の時にも慌てず行うことが出来ます。

## 懇親旅行のご報告

6月15・16日に一泊二日の懇親旅行を開催しました。福島県・いわき温泉へと宿泊し、アクアマリンふくしまなどのレジャースポットから白水阿弥陀堂や岡倉天心美術館などの文化施設を回る充実の二日間でした。



石炭化石発掘館



白水阿弥陀堂で集合写真(25名)

## 知恵袋サロンのご案内

大洞院では、長寿高齢社会における、高齢者向けの有用な知恵・知識・情報を共有し、広く身につけて活用する場として、「知恵袋サロン」を開催しています。

多くの参加をお待ちしています。



6月23日開催  
「身近な経験者が語る『お葬式』」

### 次回 高齢者に減薬の勧め

日時:8月25日(土) 14時~ 場所:本堂

講師:橋谷 毅 (柏市薬剤師会・理事)

持病や体調不良で病院に行くと処方薬の種類が増え、薬の副作用と思われるふらつき・倦怠感・物忘れなどが発生する人が見られます。今回は柏市薬剤師会にお願いして専門家を講師に招きます。話題となっている高齢者と薬について、一緒に勉強をしましょう。



申込は大洞院寺務所まで ☎04-7132-5868 daitou@daitoin.net

## 七五三祝祷のお知らせ

三歳、五歳、七歳などのお子さまの健やかな成長を願い、多くの皆様に参加いただき、大洞院本堂で七五三祝いの祈願をします。家族そろって参加ください。参加費は無料です。

**平成30年11月11日(日)  
午後2時から 七五三祝祷(本堂)**

記念品を用意しますので、寺務所にある申込書にてお申込みください。

## 長寿祝いの会

喜寿(77歳)、傘寿(80歳)、米寿(88歳)などの檀家の皆様をお招きして「長寿祝いの会」を開催します。毎年、10名程度が参加しています。

皆様の檀家台帳を参考に、対象者には6月上旬に案内を送りました。案内漏れがありましたら、大洞院寺務所まで連絡をお願いします。(年齢は、数え年を基準にしています)

日時:7月7日(土)11時から

身体健全長寿祈願法要、集合写真撮影、懇親昼食会

**喜寿・傘寿・米寿だけど案内が来ていない！  
と言う方は、お手数ですが大洞院までご連絡ください**

# 西村五葉書展

7月11日から8月23日まで、書道家の西村五葉先生の作品展を大洞院ギャラリーにて開催します。作品11点並びに、先生が晋山式の為に製作した「両序牌」を展示します。

両序牌は、展示終了後は本堂大間へと掲示する為、間近で見る機会はギャラリーでの展示時のみです。

施食法要、盂蘭盆法要の際に是非観覧ください。



7月11日(水)  
～8月23日(木)

於 大洞院ギャラリー

## 子供ゆかた着付け教室

大洞院で着付教室を開催する鈴木恵美子さんによる、浴衣着付け教室です。一回からでも気軽に参加ください。申し込みは大洞院(☎04-7132-5868)まで連絡ください。

8月2日(木) 8月7日(火) 参加費  
こども500円、大人1,000円

## 歴住忌のご報告

5月30日の大洞院三十世(木村)大徹誠治大和尚の祥月命日に合わせて、開山より大洞院を守ってきた歴代住職を供養する歴住忌を執り行いました。法要後は歴代住職の偉業や思い出について語り合いました。

歴住忌を通じて歴代の住職達へと、今年の晋山式に向けた歩みをご報告しました。



酷暑注意!

## 西玄関休憩所を冷房中

今年の夏は暑い日が続くと言われています。大洞院では、本堂西玄関のロビーを冷房して、休憩所として利用いただいている。寺務所玄関には冷たい飲み物を用意しています。

墓参りや参拝の際などに休憩所として、自由に活用ください。熱中症にならないように涼みながら、ギャラリーの作品を鑑賞をする、書架の本を手に取る、飲物を口にするなど、ゆっくりと休憩ください。

## GALLERY NEWS

### ◆渡邊真利作品展

6月14日(木)～7月10日(火)

作品展を予定しておりました渡邊真利さんが今年5月17日に逝去されました。渡邊さんは生前に大洞院へと作品を贈与されましたので、展示は告知通り開催いたします。

寄贈された作品を活用し、毎年展覧会を開催する予定です。

渡邊さんは、国画会の会員であり、同会の審査員も務め、日本国内の芸術活動に多大な貢献されました。

ご冥福をお祈りいたします。



伝説(M) (昭和38年)



高原の母子 (平成26年 絶筆)

### 画歴

昭和6年生。昭和36年国画会展新人賞受賞。昭和44年現代日本美術展入選。昭和47年国画会会員推举。国画会会員(審査員)、千葉県美術会常任理事、全道展会員(審査員)。平成30年5月17日逝去 享年87。

## 歳の市(バザー)の品物募集のお願い

今年12月も、恒例の歳の市(バザー)を開催します。  
ご自宅に眠る不要となった品々を提供ください。大洞院寺務所へと相談・連絡ください。

皆様の協力をよろしくお願いします。

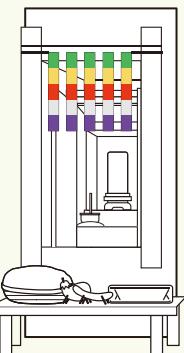
## 皆様の声

Q. 盆幡(ぼんばた)を大洞院からいただきましたが、いつ、どのように使うのでしょうか?

A. 盆月の7日に仏壇や施食棚に飾り付けてください。七夕飾りは、盆幡を飾る古来の風習から始まっています。

イラストは、盆幡の飾り付け例です。

(今年も、大洞院本堂西玄関に、盆棚の例を飾ります。参考にしてください。)



Q. 棚経(たなぎょう)の時期と意味を教えてください。

A. 盆月には、先祖が自宅に帰っていますので、僧侶が檀家を一軒一軒回り、位牌の前で読経・供養をするのを棚経と言います。

盆月7日に盆幡を仏壇などに飾っていただき、その日から大洞院の棚経が始まります。

読経開始までに、家族が集まり、一緒にお参りすれば、ご先祖様も喜ばれるでしょう。

多くは盆月15日までにお伺いし、24日の地蔵盆には、全ての棚経を終わります。

# 大洞院 母と子の地蔵盆

8月23日(木)14:30~15:30

大洞院 本堂・参加費 無料

## 地蔵盆

子供達を見守ってくれるお地蔵様に縁のある8月下旬に行われる子供が主役のおまつりのことです。

地蔵盆でお盆も終わりを告げます。

子どものお盆・地蔵盆と一緒に楽しみましょう。大人も子供も楽しめるおはなし会も開催します。気軽にご参加ください。



楽しいイベントがいっぱい!

ミニシアターはらぺこくん  
～おはなし会と手遊び～

パネルシアター  
「きょうはすてきなおばけの日」  
じゃんけんゲーム  
「冷やしラーメンじゃんけん」

14:30~14:50 大洞院本堂

輪投げ遊び  
大洞院縁日!  
ヨーヨー釣り  
千本引き



昨年のコンサート



ミニシアターはらぺこくん



みんな楽しく輪投げ遊び

## 寺ゼミ(講演会) ものづくりの原点 最古のハイテク石器製作

日時:平成30年7月14日(土)14時

参加費:無料

定員:20名(先着順)

対象:15歳以上

講師:橋本 勝雄

((公財)千葉県教育振興財団)

旧石器時代の生活を理解いただくために、石器の製作実習をします。千葉県教育振興財団の橋本勝雄先生の指導で、参加の皆様に旧石器時代の先端技術である黒曜石を用いた石器製作の英知に触れていただきます。黒曜石の破片は鋭利で怪我をしやすいので、参加者は15歳以上の20名に限定させて頂きます。(15歳未満の同伴は不可です)軍手を持参ください。定員になり次第、締め切らせていただきます。(現在申し込み15名、残り5名)

主催:花野井歴史研究会 申込:大洞院寺務所へ電話orメール